

平成30年(2018年)2月26日

大阪狭山市議会議長 山本尚生様

大阪狭山市議会改革特別委員会委員長 松尾 巧

議会改革特別委員会平成29年度中間報告書

本委員会では、平成29年3月13日の平成28年度中間報告以降、前年度から申し送りされた調査事項を中心に、現在まで10回にわたり調査検討を行いました。

つきましては、本委員会での調査・検討結果等について大阪狭山市議会会議規則第45条第2項の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

1. 経過

前年度からの申し送りに基づき、本委員会の設置以降の取り組むべき課題については、一定、具体化されたことから、新たな課題の模索をしていくのではなく、現行の取組について、その趣旨や目的に立ち返った上で、それらの内容や運営の在り方等について、調査・検討を行いました。

○前年度から申し送られていた事項

- (1) 子ども議会について
- (2) 議会報告会及び市PTA連絡協議会との意見交換会
- (3) 傍聴呼びかけ隊について
- (4) 請願・陳情等の意見陳述について
- (5) 予算決算常任委員会について
- (6) 所管事務調査について

- (7) 議会基本条例について
- (8) 議員定数について

2. 調査・検討結果

(1) 子ども議会について

児童生徒の意見に対して、議員が答弁するとの現行のやり方は、現実の議会制度に即しておらず、不自然さもあるので、運営方法等について検討する必要があるとの申し送りがされていました。

教職員からも負担となっている声が上がってきているだけでなく、今年度は、例年の開催時期において、全校の日程を調整することが困難となっていることから開催を見送らざるを得ない状況となりました。

こうした状況から、どのような運営方法に変更するのか、また、公立高校で実施された模擬投票や中学校の生徒会サミットなど学校の取組との連携が図れないかといった、現行の子ども議会とは異なった関わり方を変える視点で、新たな方策を引き続き調査・検討していくこととしました。

(2) 議会報告会及び市PTA連絡協議会との意見交換会について

議会報告会と市PTA連絡協議会との意見交換会については、今年度も11月に併催で実施し、また、他団体との意見交換についても検討する必要があるとの意見が申し送られていたことから、まちづくり関係団体に参加を呼びかけ、5月に実施しました。

・第7回

日時：平成29年5月27日（土）午後2時～4時30分

会場：コミュニティセンター（まちづくり関係団体など、参加37人）

テーマ：市制施行30周年 ～今後のまちづくりについて～

・第8回

日時：11月19日（日） 午後1時30分～午後4時

場所：市役所 3階 会議室（市PTA連絡協議会など、参加30人）

テーマ：子育て・教育・魅力あるまちづくり～

今年度は、各種団体に参加を呼びかけた一方で、一般の方の参加が少なく、

また、これまでの開催を経て、リピーターとしての参加も見受けられない状況から、議会報告会が市民には定着していない課題があるとの意見もあり、引き続き調査・検討していくこととしました。

(3) 傍聴呼びかけ隊について

定例月議会の開催前（5月29日、8月28日、11月27日）に、街頭（コノミヤ・イオン）で市民にチラシを直接配布しながら議会の傍聴を呼びかける活動を実施しました。市民が関心を持つようなチラシの内容やレイアウトの工夫などを講じていくものとし、今後も引き続き実施していくこととしました。

(4) 請願・陳情等の意見陳述について

意見陳述の申出があった件数は3件で、このうち、常任委員会で意見陳述を行った件数が1件（請願）、申出を取り下げられた件数が1件（要望）、意見陳述に係る要望が常任委員会に付託されなかったために不承認となったものが1件でした。今後も引き続き実施し、市民にこの制度の定着を図ることとしました。

(5) 予算決算常任委員会について

予算決算常任委員会を設置し、定例月議会ごとに予算又は決算を審議したことは、非常に大きな効果がありました。しかし、広範多岐にわたる審議においては、時間の配分など進め方については課題があるとの意見もあり、今後も引き続き実施しながら検討していくこととしました。

(6) 所管事務調査について

総務文教常任委員会及び建設厚生両常任委員会において、それぞれ調査を実施し、今後も引き続き実施していくこととしました。

- ・ 平成29年度のテーマ及び調査内容

【総務文教常任委員会】

- ・ テーマ：子どもが笑顔になる居場所と学び
- ・ 調査内容
 - ①学校図書館と市立図書館との連携について
 - ②さやま元気っ子事業と放課後児童会の現状について

③学習支援の現状把握について

【建設厚生常任委員会】

- ・ テーマ “もっと！” 住みやすい大阪狭山市に向けて
～老後も安心して暮らせるまちに～
- ・ 調査内容 地域包括支援センターにて学習会を開催後、その内容を踏まえて所管事務調査の内容及び今後の進め方等について検討。

(7) 議会基本条例について

条例制定に向けた取組に着手し、本委員会として条例案の原案を作成しました。今後はパブリックコメントの実施や議会報告会等を通じて、市民への周知や意見を聴く機会を設けながら、平成30年12月定例会議会での議決、平成31年4月からの施行をめざした取組を行います。

(8) 議員定数について

今後も引き続き調査・検討していくこととしました。

(9) 議会のICT化の推進について

議会への市民参加と関心の向上を図るため、市民の多様なICTに関するニーズへの対応やICTを積極的に活用した次代の議会運営について、調査・検討していくこととしました。

3. 終わりに

平成23年7月の本委員会の設置以降、「通年議会」や「議会報告会」の開催、常任委員会における「所管事務調査」実施などをはじめ市民への情報発信、市民との情報共有の推進など、これまでは議会が実際に行動を起こすことを最優先に、議会改革に取り組んできました。

今年度においては、前年度から申し送りされたように、現行の取組やこれまでの議会改革の成果について、その趣旨や目的に立ち返るとしたことで、「議会基本条例の制定」は必然的なものとなりました。

今後は、これまでの議会改革の成果をより確かなものとするため、「議会基本条例の制定」を最優先の課題として取り組むとともに、本市議会の活性化及び透明性の向上の方策等をさらに調査・検討し、議会の機能を充実・強化するという本委員会の目的を達成するために引き続き取り組んでいきます。

議会改革特別委員会委員名簿

区 分	氏 名	所 属 会 派
委員長	松 尾 巧	日本共産党議員団
副委員長	北 好 雄	公 明 党
委 員	井 上 健太郎	リベラルさやま
委 員	上 谷 元 忠	大阪狭山維新の会
委 員	鳥 山 健	みらい創新
委 員	西 野 滋 胤	大阪維新の会
委 員	松 井 康 祐	政風クラブ